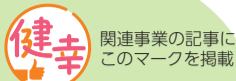


人もまちも健康で、  
すべての人が幸せに



# 健康プロジェクト

Vol.1

問 政策企画課 (TEL 048-736-1118)

まちの将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」の実現に向けて、五つのプロジェクトを重点的・分野横断的に取り組む健康プロジェクトを推進しています。



今回は、五つのうち「健康をはぐくむまちプロジェクト」の中から「フレイルチェック事業」を紹介します。

加齢に伴う活力の低下(フレイル)への早期の「気づき」を促すことを目的として、フレイルチェック事業を実施しています。

フレイルチェック測定会に参加し、自らの心身の状態を点検することで、生活習慣を見直したり、社会参加に積極的になったりするなど、実際の行動変容につながります。また、市民ボランティア「フレイルサポーター」が測定会などの運営を担うことで、高齢者の活躍の場にもなっています。

これまで武里団地をモデル地区として実施してきましたが、令和6年度からはフレイル

サポーターや地域包括支援センターなどと連携して、市内各地に展開していく予定です。

問 介護保険課 (TEL 048-736-1119)



## こんにちは かすかべ 親善大使です

問 シティセールス広報課 (TEL 048-796-5985)



ひらい 平井大使

1/30の埼玉県東部副市長会研修会で、「気象予報と災害」についての講演を行いました。

## 東中学校と市長が「未来の春日部」をテーマに交流会を行いました

問 都市計画課 (TEL 048-736-1138)

東中学校の1年生は、総合的な学習の時間に市都市計画マスタープランを参考に「未来の春日部」を研究しました。

交流会では、東中学校の代表生徒が、研究内容を市長に発表しました。また、市長と生徒の間で発表内容に沿った活発な意見交換が行われました。

発表内容の詳細は市HPで▶



## かすかべ 今昔絵巻

106 市史のささやきvol.18

文化財課・郷土資料館ブログ「ほごログ」も日々更新中!



風薫る5月、ユリノキ通りや庄和総合公園では、チューリップのような形をしてオレンジ色の斑紋をもつ黄緑色をしたユリノキの花が咲く季節を迎えます。



ユリノキは、モクレン科ユリノキ属に属する被子植物(雄雌同株の落葉樹)です。

化石資料などから、ユリノキは、恐竜が生息していた白亜紀という時代に出現し、その後栄えた植物であることが知られています。日本においても化石が発見されていますが、現在では、日本をはじめとするほとんどの国で自生種は絶滅しています。

日本を含む世界各地で植栽されている現在のユリノキは、北米東部原産のものに由来します。このように地質学上の太古の時代に繁栄していた植物が、何らかの形で現代まで細々と生き抜いている植物は、「生きている化石植物」と呼ばれています。

ユリノキの他には、イチヨウやメタセコイア、カヤ、コウヤマキ、スズカケノキ(プラタナス)などの樹木も「生きている化石植物」と呼ばれています。

どの植物も公園や寺社などで植えられており、皆さんの身近にある植物ですので、折に触れ、市内に生息する化石植物を探してみたいはいかがでしょうか。

今回の今昔絵巻の内容も掲載

『春日部市史 自然誌編』

市域の土地の成り立ち、河川の移り変わり、気象観測や自然災害の記録などを編さんした新たな春日部市史を刊行しました。

とき ▶ 5/1(水)から頒布開始

価格 ▶ 1冊3千円

購入できる場所 ▶ 市役所4階文化財課・3階市政情報課、庄和総合支所2階総務担当、郷土資料館、道の駅「庄和」、ぱらっとかすかべ ※市立図書館に配架あり



問文化財課 (TEL 048-739-6811)

市公式ソーシャルメディア



市公式魅力発信メディア



安心安全情報メール「かすかべ」

市では、防災、防犯、火災、子育て、行政、気象情報などに関する情報をメールで配信しています。



防災行政無線

放送内容は、フリーダイヤル(TEL)0120-899-300で確認できます(直近の内容のみ)。問危機管理防災課 (TEL)048-739-6830

岩谷市長の行動記録



春日部市の世帯数と人口 (4/1現在)

●世帯数 112,241世帯 ●人口 230,380人(前月比34人増)  
男▶113,941人 女▶116,439人



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

